

分類 番号	A7	取組 名称	産業関連情報の総合的集約とそれを用いた地域産業情報支援および情報発信 産業支援サイトのあり方と活用方策
研究代表者所属・職名：		生命環境科学研究科・准教授	氏名： 岩崎 雅史
研究担当者：			
京都府立大学（青山 公三（敬称略））			
外部分担者・協力者（新庄 雅斗 氏、中村 雅彦 氏、藪内 宏樹 氏、松下 直弘 氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）			
城陽市役所商工観光課			
【研究活動の要約】			
<p>城陽市で着々と進む大規模開発の数々が幸せな未来をもたらすかどうかは、城陽市が誇る豊かな産業基盤をうまく生かせるかどうかポイントとなる。多様性を帯びた城陽市の地域産業界は魅力的であるが、これを理想的な都市開発につなげるためには、文系と理系の枠組みにこだわらない学術領域横断型の研究を展開する必要がある。初年度となる平成30年度は、城陽市の全貌を集約・発信するWebサイトの構築に向けて、文理融合型研究チームを編成して次に示す2つの研究に取り組んだ。</p>			
地域産業界に対するヒアリング調査および政策提案			
<p>◎ 「生産」「製造」「飲食」「小売」「レジャー」「医療」の産業分野ごとにそれぞれ39,49,53,43,51,39の質問項目を定め、44の企業（個人事業主含む）に対してヒアリング調査を実施。</p> <p>◎ ヒアリング結果をもとに現状を分析し、今後の大規模開発に向けた政策を提案。</p>			
ヒアリング結果の数値分析およびそれを踏まえた城陽市産業支援サイトの設計			
<p>◎ ヒアリング結果を質問項目ごとに1～5の数値に変換し、各企業の特徴をベクトル化。例えば「生産」に分類された企業の特徴ベクトルは、39個の1～5の数値を並べた39次元ベクトル。</p> <p>◎ 特徴ベクトル間のコサイン類似度を算出することで、同業種企業間の類似性はもちろん、異業種企業間の類似性も数値化。</p> <p>◎ 潜在的意味インデキシング技術を用いて、Webページに掲載すべき情報を厳選。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>ヒアリング結果の数値分析結果を踏まえて、城陽市産業支援サイト（JoInT: <u>J</u>oyo <u>I</u>ndustrial-support & promotion <u>T</u>ool）を設計。画面上部に表示されるグローバルナビゲーターは、閲覧者が親しみやすい「つくる・はたらく」「あそぶ・たいけん」「たべる・かう」「くらす」の4つで構成。人間の直感的な行動パターンに合致するので、閲覧者の能動的なページ移動がスムーズに行える。企業紹介ページは企業ごとに「概要+3つの特徴+7枚の写真+基本情報」で構成。最下部に設けた「お隣企業&事業主の紹介」は受動的なページ移動を誘導する仕組み。閲覧者がもともと知りたい情報に加え、城陽の産業にたくさん触れてもらうための工夫であり、とりわけ異業種間リンクは他に類を見ないJoInT最大の特長である。3月28日の政策研究発表会では、JoInTの説明に加え、ヒアリング調査に基づく分析結果の報告と、今後の大規模開発に向けた政策提案も併せて行った。</p>			
【研究成果の還元】			
2019年3月28日 城陽市鴻ノ巣会館 城陽市役所関係者等15名「政策研究発表会」			
2019年5月下旬 城陽市産業支援サイトJoInT公開（予定）			
【お問い合わせ先】			
生命環境学部 応用数学研究室 准教授・岩崎 雅史			
Tel: 075-703-5429 E-mail: imasa@kpu.ac.jp			

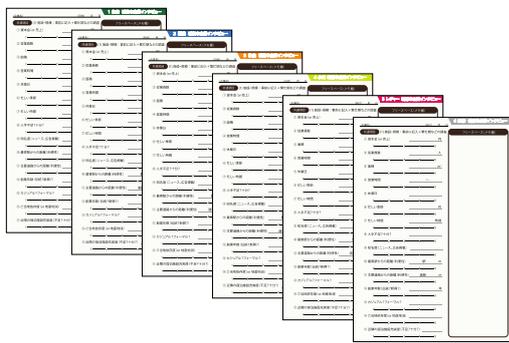
参考 (イメージ図、活動写真等)



大規模開発の現場視察(平成 30 年 5 月 24 日)



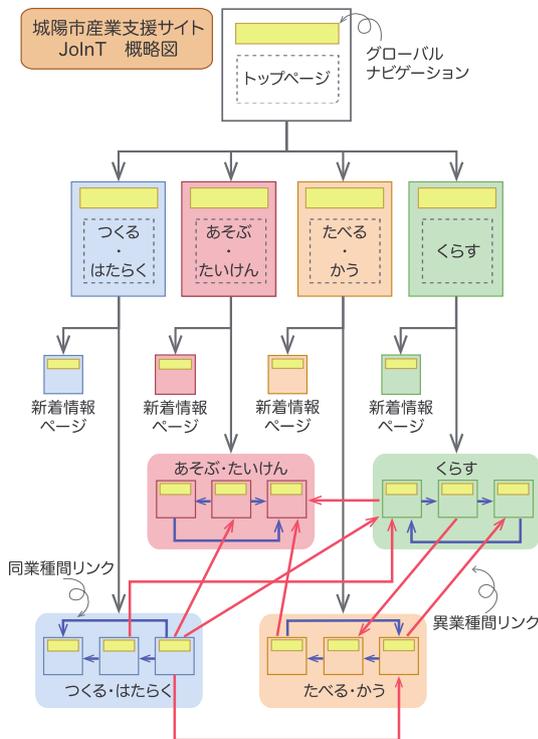
ヒアリング調査@旅籠屋利兵衛



6 種類のシートを使い分けてヒアリング調査



政策研究発表会(平成 31 年 3 月 28 日)



城陽市産業支援サイト J o I n T の概略図



城陽市産業支援サイト J o I n T トップページ